

持続可能な社会の 作り手を育むために

鳴門教育大学大学院
家庭科教育コース



鳴門教育大学大学院 家庭科教育コース



2022年度、7名在籍

全員が中学校もしくは高等学校の
家庭科教員を志望



学校現場での実地研修を交えながら、
教育や家庭科を専門的に学習・研究

家庭科で学習させたいこと：1人でできること

- 買い物する前に計画を立てよう
- マイボトルやエコバックを持ち歩き、資源の無駄を減らそう
- 環境に配慮したラベルを覚え、買い物のときに見つけよう
- 冷蔵庫の中身を把握して買い物をしよう
- 食材を長持ちさせる保存方法を知ろう
- エコクッキングで食品ロスを減らそう
- 正しい手入れで被服を長持ちさせよう
- マークを確認してごみの分別をきちんとしよう
- 車ではなく、出来るだけ徒歩や自転車を使おう
- 電気をこまめに消して無駄遣いをなくそう



家庭科で学習させたいこと：1人でできること



- 環境に配慮したラベルを覚え、買い物するときに見つけよう
家庭科 消費生活 “エシカル消費”
情報源としての環境ラベル (知識)
消費行動への反映 (実践)
⇒資源消費減、生産者や環境の保護
- 正しい手入れで被服を長持ちさせよう
家庭科 衣生活 “被服の手入れ”
しみ抜きの方法や防虫防カビ等 (知識)
被服管理への反映 (実践)
⇒ゴミの削減、資源消費減



将来の勤務先で：学校でできること

- 使い終わったものを再使用できる仕組みを作ろう（制服や上級生の参考書など）
- 学校で資源ごみを回収しよう（ペットボトルキャップなど）
- ゴミ拾い活動を行い、子どもたちや地域の方々と共に地域をきれいにしよう
- 屋上壁面緑化やグリーンカーテンに取り組もう
- 皆がエアコンの使用頻度や温度を考え、省エネに努めよう
- 給食や昼食の食べ残しの原因と対策を考え、減らしていこう
- 給食を通じて地域の食文化を学び、地産地消に取り組もう
- フェアトレード製品を積極的に取り入れよう（購買に置く、文化祭で販売するなど）
- SDGsに関連する調べ学習をしよう
- 環境負荷を減らすために色々な人とたくさん話し合いをして、様々なアイデアを出そう



将来の勤務先で：学校でできること

- 使い終わったものを再使用できる仕組みを作ろう
(制服や上級生の参考書など)

譲渡会や交換会の定期開催

受験を終えた上級生の古本を回収→じゃんけん大会で下級生に

⇒ゴミの削減、資源使用減



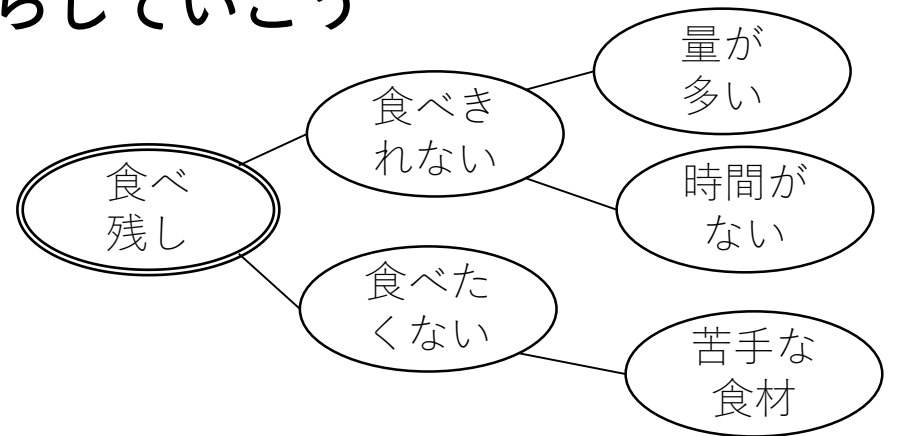
- 給食や昼食の食べ残しの原因と対策を考え、減らしていこう

食べ残しの実態を把握、提示

問題点や解決策を検討(生徒の活動)

優秀案の採用、実施

⇒フードロスの削減、食育による当事者意識の育成



これから暮らす地域で：地域でできること

- 地域の特産品の良さを伝える即売会やイベントをしよう
- リサイクルステーションを設置し、3R(reduce、reuse、recycle)を徹底しよう
- 町内ごとのゴミの廃棄量を数値化しよう
- 歩いて移動しやすいよう、歩道の整備を進めよう
- 発展途上国への寄付や募金活動に取り組もう
- フリーマーケットやお下がり交換会を開催しよう
- エシカル消費やSDGsの勉強会をしよう
- 地域で清掃イベントを開こう
- 再生エネルギーを取り入れる場所を増やそう
- 緑を増やし、カーボンニュートラルに貢献しよう



これから暮らす地域で：地域でできること



- **エシカル消費やSDGsの勉強会をしよう**
環境教育や消費者教育…最新のを広い世代が受ける必要
→専門的に扱う家庭科教員として、地域にも還元
⇒意識の増加、行動への反映
- **町内ごとのゴミの廃棄量を数値化しよう**
地域から排出されるゴミの量を見える化→問題意識
地域を細分化する→当事者意識
⇒ゴミの削減

